

◆お名前/ご所属： 新藤 隆行(シンドウ タカユキ) 先生 /信州大学 医学部医学科 循環病態学教室

◆研究テーマ： 心血管系の恒常性制御に基づく、癌転移抑制法の開発

◆助成金額： 100 万円

1：研究者になろうとしたきっかけ

人体の不思議への好奇心と、臨床経験から生じた問題意識です。患者さんの苦しみに直面し、未解決の課題に取り組むために研究の道を選びました。

2：助成研究の内容紹介

心血管系の研究領域においては、これまで癌の研究はほとんど行われてきませんでした。しかし、最近、「腫瘍循環器」という融合分野が注目を集めています。癌に対する新しい治療法が登場し、これまでに見られなかった様な心血管系の副作用が明らかとなって来たためです。こうした背景の中、私たちは、逆に、心血管系の異常が転移の原因となる可能性を考えました。

私たちはこれまで、心血管系の恒常性に重要な役割を果たしているアドレノメデュリンというペプチド因子と、その活性を調節している RAMP2 というタンパクに注目してきました。本研究では、AM-RAMP2 系を制御することで、癌の転移を抑制する新しい治療法の実現につなげたいと考えています。

3：2の将来に繋がる結果予想・目標

現在の高齢化社会においては、治療法の進歩によって、癌と心血管系疾患の各々のサバイバーが増え、さらに両者を合併する人が増加しています。癌と心血管系疾患が双方向的に増悪因子となるのであれば、両者の境界を越えた新しい視点からの研究や治療法開発が、今後大変重要になると予想されます。

4：全国の RFL 関係者に一言メッセージ

心血管系という異分野の研究者の視点から、癌に向き合い、転移を抑制する治療法の実現にチャレンジしたいと考えています。